

中部フィルハーモニー交響楽団 岐阜特別演奏会 ニューイヤーコンサート

# 音楽の福袋

第13弾!

管弦楽

中部フィルハーモニー交響楽団

ガーシュウィンで  
ハッピー・ニュー・イヤー!



指揮・ピアノ

©Satoshi Mitsuta

渡邊 一正



サラマンカホール 鏡開き!!

開場時に鏡開きを行います。振る舞い酒もお楽しみに!

2024.1/13 [土] 14:00開演  
(13:15開場)

サラマンカホール 岐阜市藪田南 5-14-53

全席指定 プラチナ席 5,500円(サラマンカメイト4,950円)

S席 4,500円(サラマンカメイト4,050円) A席 3,500円(サラマンカメイト3,150円)

学生席 1,000円※当日指定(中部フィル事務局のみの取り扱い)25歳以下・学生証提示  
※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※車椅子席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取り扱いです。

ルロイ・アンダーソン:舞踏会の美女  
ジョージ・ガーシュウィン:ラプソディ・イン・ブルー  
ヨハン・シュトラウス2世:喜歌劇「こうもり」序曲  
ヨーゼフ・シュトラウス:ワルツ「天体の音楽」作品235  
ヨハン・シュトラウス2世/  
ヨーゼフ・シュトラウス:ピチカート・ポルカ  
ヨーゼフ・シュトラウス:鍛冶屋のポルカ 作品269  
ヨハン・シュトラウス2世:ポルカ「観光列車」作品281  
ヨハン・シュトラウス2世:ワルツ「皇帝円舞曲」作品437  
※曲目は変更になる場合があります。

サラマンカメイト先行発売

中部フィル サポーター・フレンズ先行予約期間

一般発売

2023 9/27 (水) 2023 9/27 (水)~10/3 (火) 2023 10/11 (水)

\*サラマンカホール チケットセンター:電話・インターネット9:00~|窓口12:00~  
\*中部フィルハーモニー交響楽団:窓口・電話・インターネット9:00~



主催: NPO 法人 中部フィルハーモニー交響楽団 共催: サラマンカホール 後援: 岐阜県、岐阜市、岐阜市教育委員会、中日新聞社  
お問い合わせ | 中部フィルハーモニー交響楽団: 0568-43-4333 info@chubu-phil.com

サラマンカホール

検索



チケットのネット予約は公式サイト「サラマンカ・オンラインチケット」で  
チケットのお求め  
サラマンカホール チケットセンター 058-277-1110 [9:00~21:30]

チケットの  
お求め

サラマンカ・オンラインチケット <https://p-ticket.jp/salamanca/>  
中部フィルハーモニー交響楽団 <http://chubu-phil.com> 0568-43-4333  
チケットぴあ[Pコード 234-665] <http://t.pia.jp>  
イープラス <http://eplus.jp> Famiポート(ファミリーマート)

指揮・ピアノ

## 渡邊 一正 Kazumasa Watanabe

東京生まれ。1991年東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。2015年4月から東京フィルハーモニー交響楽団レジデント・コンダクターおよび指揮者を2021年5月まで務める。また1995年～2002年には広島交響楽団正指揮者も歴任。1998年にはNHK交響楽団の指揮台に初登場し、それ以後N響とは定期演奏会を始め数多くの共演を続けている。第69回日本音楽コンクール作曲部門(管弦楽:東京交響楽団)と第77回同コンクール・ピアノ部門(管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団)の本選会演奏に対しコンクール委員会特別賞を贈られる。日本国内のオーケストラとは読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、京都市交響楽団、九州交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団を始め主要なオーケストラに定期的な客演を行ない、その音楽性と指揮に対する信任を確実に得ている。

オペラ、バレエでの活躍も目覚しく、新国立劇場でマスカーニ歌劇「友人フリッツ」を、同劇場バレエ団では「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮し、2006年の「白鳥の湖」新演出の指揮も任せられ大成功を収めた。

また彼の指揮活動は国内だけにとどまらず、海外でもサンクトペテルブルグ交響楽団の定期演奏会に客演するなど、確実にキャリアを積んでいる。ピアニストとしても8歳の時に東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団とハイドンのピアノ協奏曲を協演。1987年から1989年には渡欧し、ダルムシュタット音楽アカデミー、ハンス・ライグラフ教授のマスター・クラスでピアノを学ぶ。その後東京フィル定期、広島交響楽団定期、大阪フィル、札幌交響楽団などのオーケストラと、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番、第5番「皇帝」、ラヴェル、モーツァルト、ガーシュウィンなどの弾き振りをを含むプログラムを行なうなど、ピアニストとしての才能も評価されている。



## 中部フィルハーモニー交響楽団 Chubu Philharmonic Orchestra



「音楽芸術文化の振興と向上」を図ることを目的に、2000年小牧市交響楽団として設立。2007年中部フィルハーモニー交響楽団へ改称。小牧市を拠点に「地域に根差したトップクラスのオーケストラ」を目指して、主に中部圏で精力的に演奏会を開催するプロオーケストラ。

音楽を通した情操教育にも寄与すべく、0歳から入場できるコンサートや、幼稚園児向けのアンサンブルコンサート、児童・生徒のためのフルオーケストラ公演や楽団員派遣による吹奏楽部の指導など、未来の演奏家育成にも尽力。文化庁から受託する巡回公演事業では、日本全国の小・中学校を訪れ、クラシックの名曲や各校校歌をオーケストラサウンドで届けるといった活動を行い、好評を博している。また、自主公演では中京地区の新進気鋭のソリストを積極的に起用するなど、地元の若手音楽家の支援・育成にも力を入れている。

さらに、社会貢献活動の一環として福祉団体を演奏会に招待する他、高齢者施設や病院等でボランティアコンサートを実施するなど、より多くの人にクラシック音楽の鑑賞機会を届けることで、心豊かな社会の実現に貢献している。

定期演奏会では古典から近代まで幅広く、ツィクルス(同一作曲家の連続演奏会)や新作の初演を行うなど挑戦的でバラエティに富んだ企画と併せて、アンサンブル力や情熱的な演奏で高い評価を得ている。また、演奏はナクソス・ミュージック・ライブラリーから世界に向け発信され、聴くことができる。

これまで愛知県芸術文化選奨新人賞などを受賞し、「多年にわたる地方自治の発展への功績」に対し愛知県より感謝状を授与された。現在、秋山和慶が芸術監督・首席指揮者、飯森範親が首席客演指揮者を務める。

これまで愛知県芸術文化選奨新人賞などを受賞し、「多年にわたる地方自治の発展への功績」に対し愛知県より感謝状を授与された。現在、秋山和慶が芸術監督・首席指揮者、飯森範親が首席客演指揮者を務める。

### サラマンカメイトのご案内

#### 特典

- チケットの先行販売
- チケットの割引(1公演2枚まで)
- ダイレクトメールによるコンサートのご案内
- グッズコーナーでの割引

※お電話(058-277-1110 入会申込書を郵送)およびインターネットでも受付けております。  
 ※年会費2,000円  
 ※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。  
 ※年会費の口座振替もご利用ください。

### 交通アクセス・駐車場



- JR西岐阜駅から車で約5分(南口タクシー乗り場より約2km)
- JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜羽島ICより車で約20分 ●無料駐車場完備

終演後に西岐阜駅まで無料マイクロバスを運行します 正面玄関前(北側)から出発します。

### 公共交通機関

- JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
- 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
- JR西岐阜駅(南口)より「西ぎふくるるバス」で約12分
- JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分



### 客席のご案内

